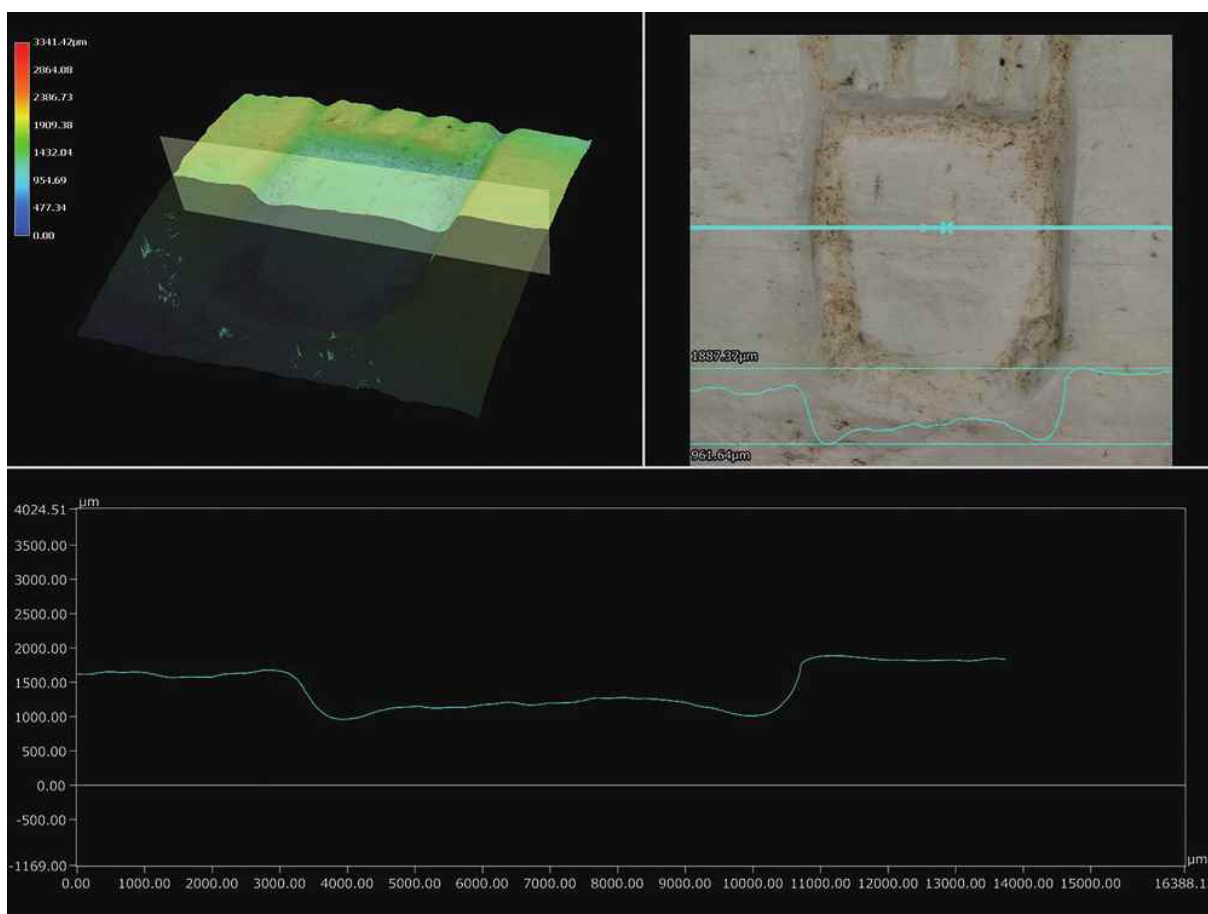


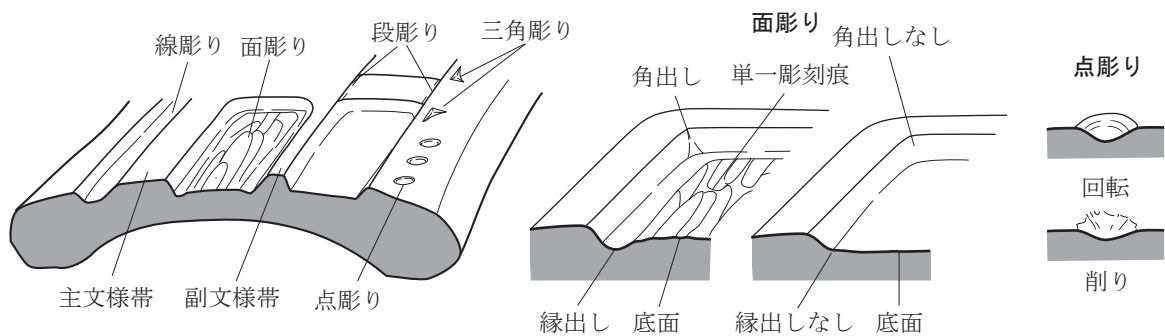


1・2はマイクロレンズによる接写撮影、3・4はデジタルマイクロスコープによる撮影（貝符はT261）  
図1 デジタルカメラとUSB デジタルマイクロスコープDinoLite-edgeによる貝符彫刻痕の記録

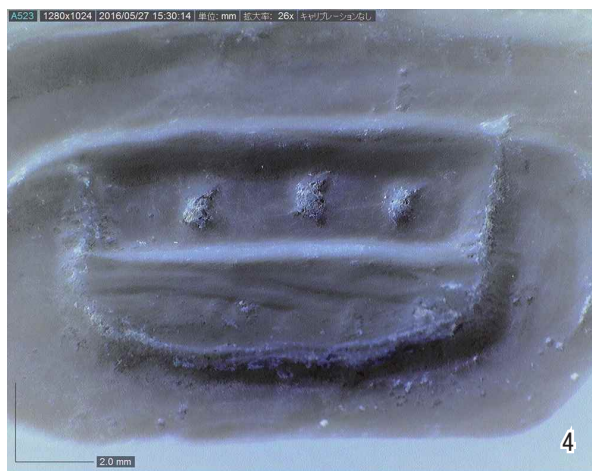
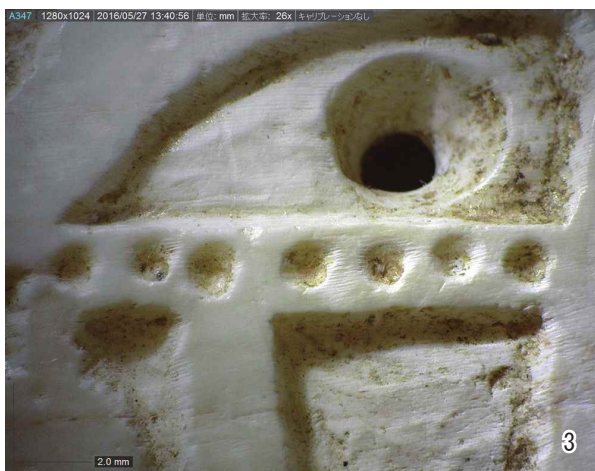
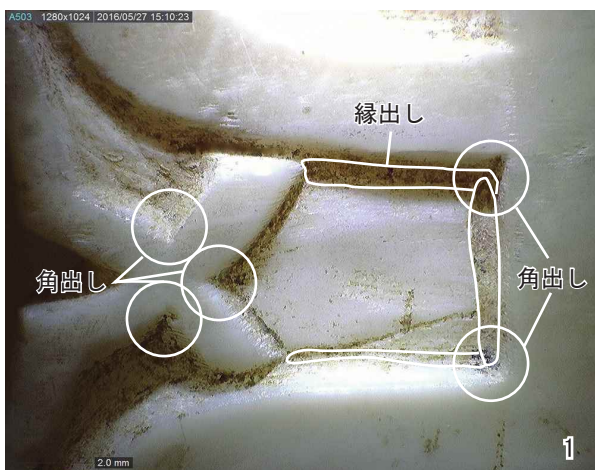
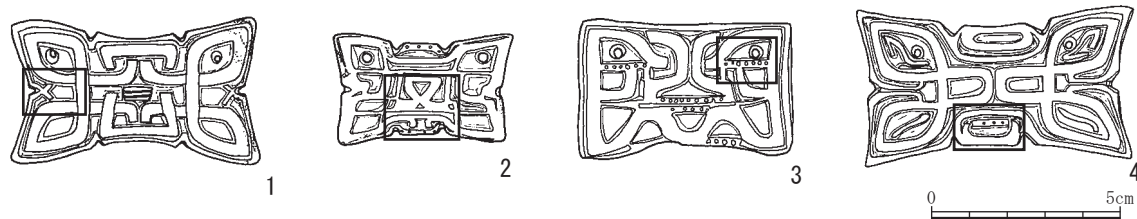


左上は斜め俯瞰3D画像データ、右上は俯瞰3D画像データ、下は3Dプロファイル測定データ (T261)

図2 デジタルマイクロスコープ VHX-5000 による貝符彫刻痕の記録

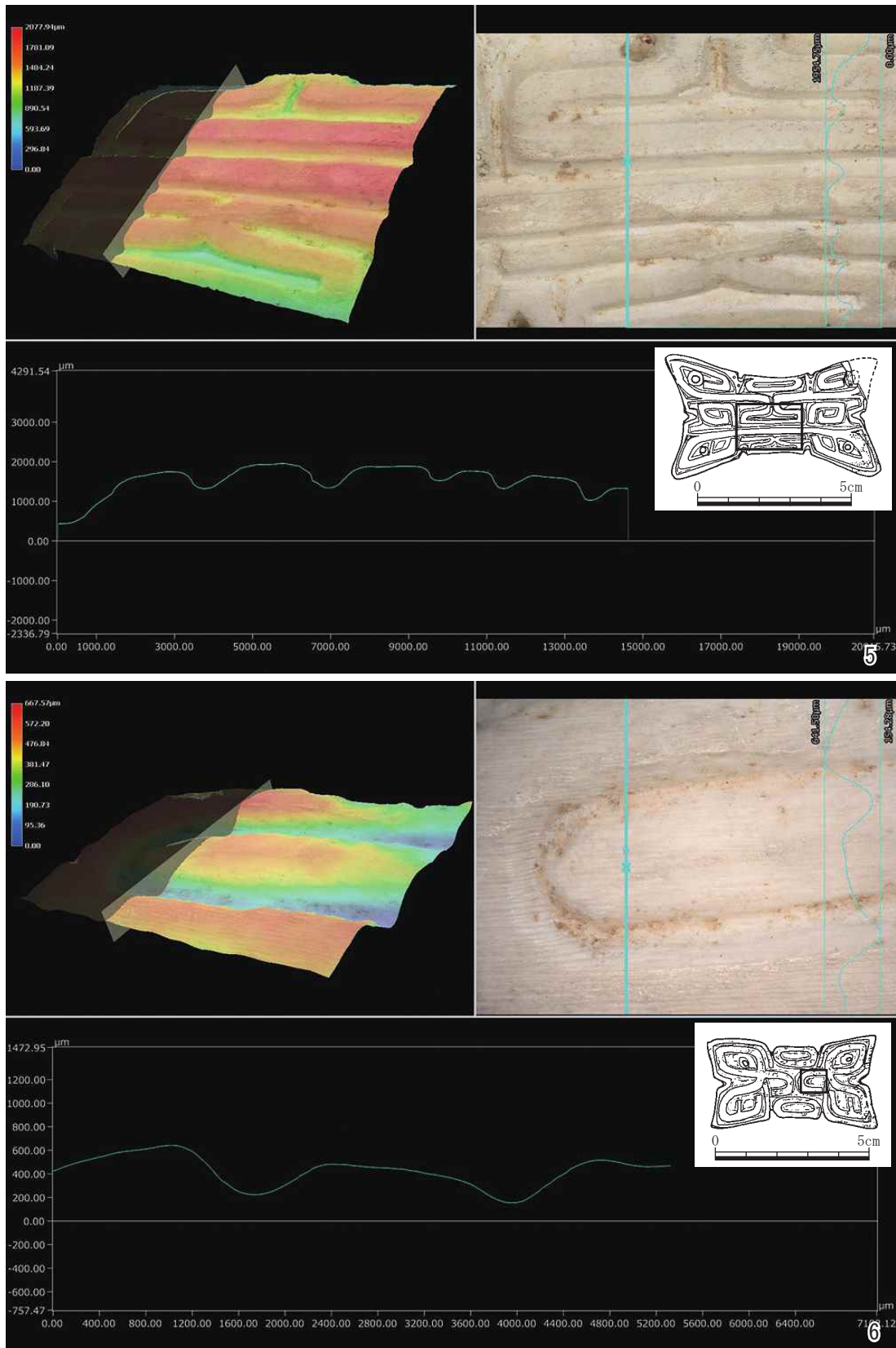


貝符にみられる文様帯と彫刻痕（彫刻技法）の名称と模式図



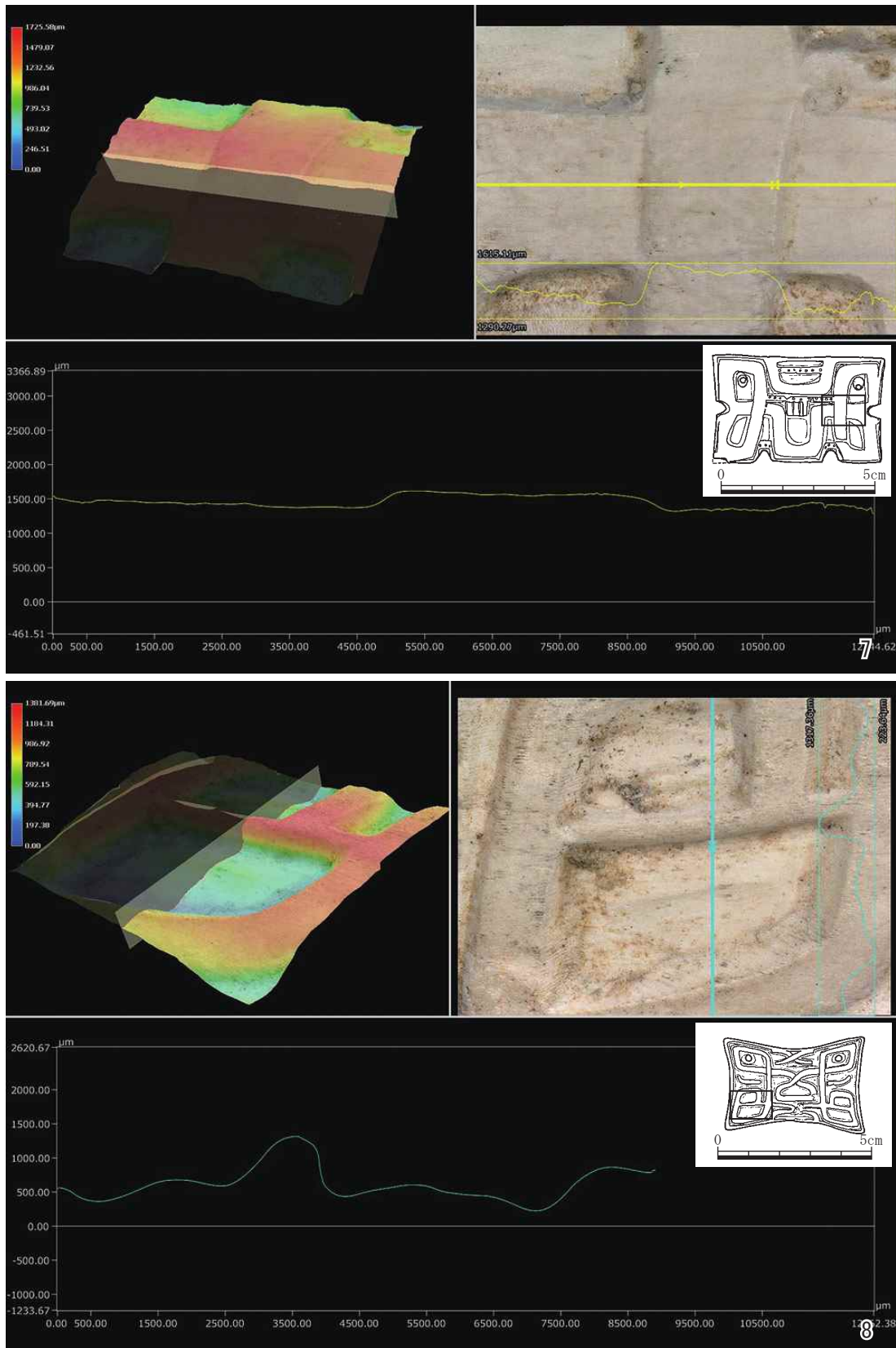
1 (T366) : 角出しと縁出し 2 (T171) : 三角彫り 3 (T263) : 点彫り (回転) 4 (T368) : 点彫り (削り)  
 ※いずれも USB デジタルマイクロスコープ DinoLite-Edge による撮影。4 のみネガ画像。

図3 貝符にみられる彫刻痕 1



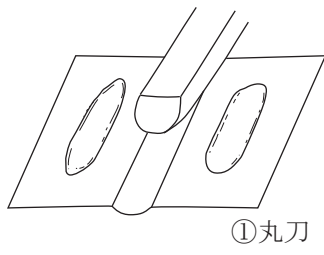
5 (T168) : 線彫り 6 (T169) : 面彫り・縁出し ※いずれも VHX-5000 による 3D 計測画像

図4 貝符に見られる彫刻痕 2

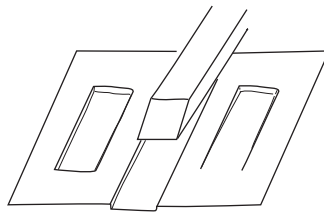


7 (T261) : 段彫り 8 (T171) : 浮線彫り ※いずれも VHX-5000 による 3D 計測画像

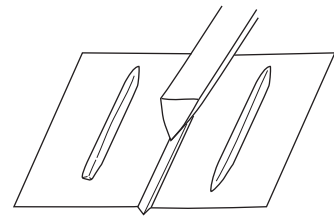
図5 貝符に見られる彫刻痕 3



①丸刀



②平刀



③三角刀



1



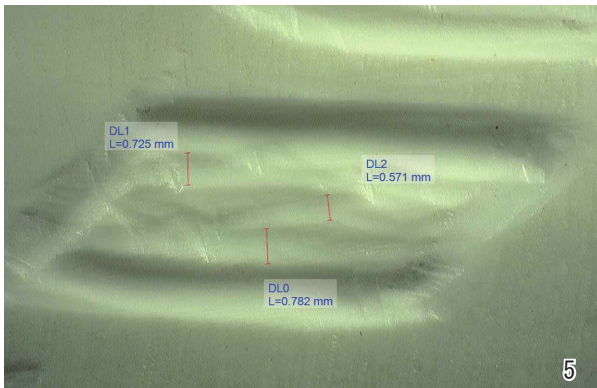
2



3



4



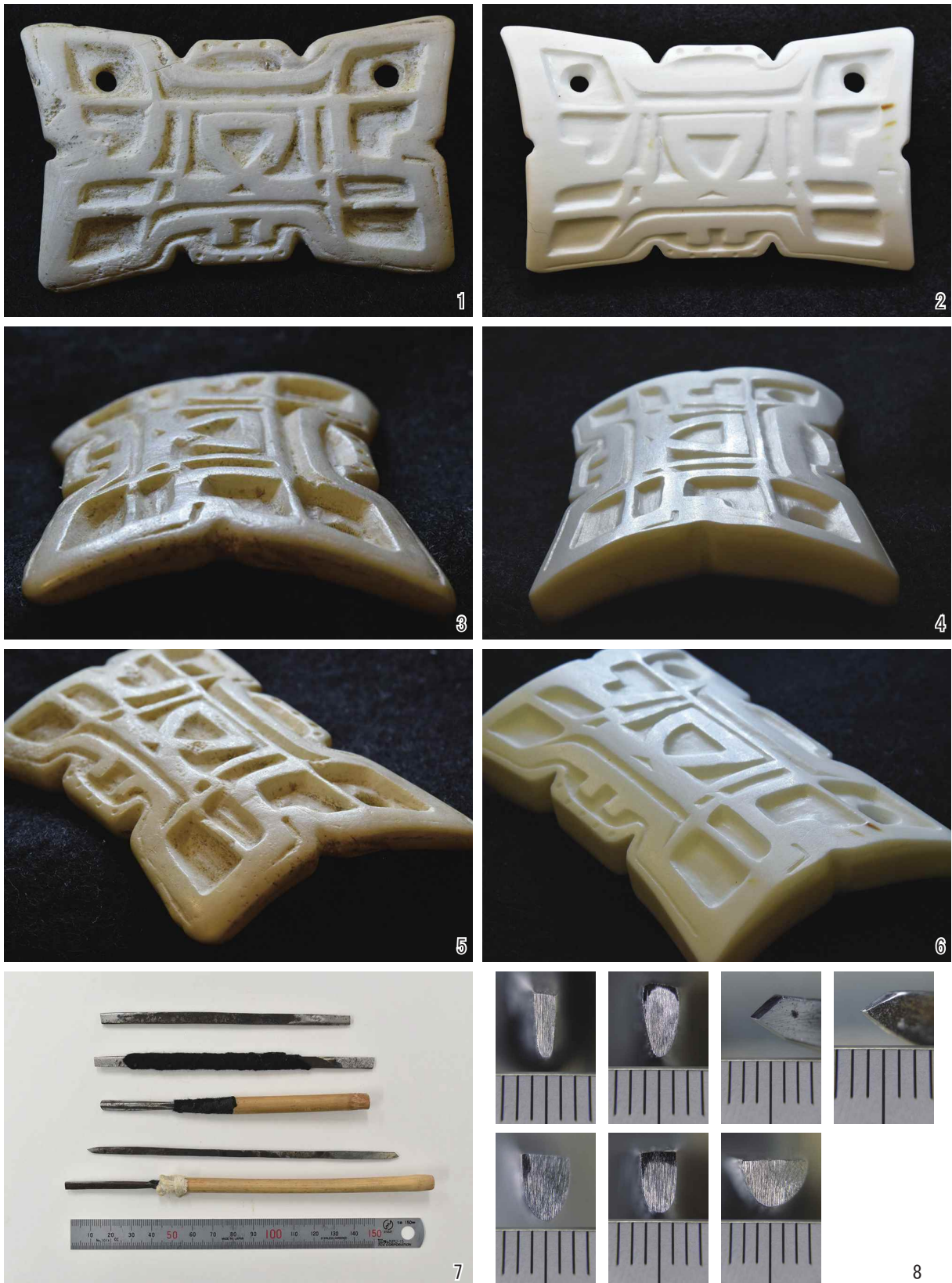
5



6

1 (T372) : 丸刀による彫刻痕 2 (T168) : 文様帯側面への彫刻痕 3 (T364) : 平刀による彫刻痕  
4 (T366) : 三角刀による彫刻痕 5 (実験) : 鉄製丸刀による彫刻痕 6 (実験) : 鉄製平刀による彫刻痕

図6 貝符の単一彫刻痕と彫刻工具刃先想定図



1・3・5がT171実物、2・4・6が比嘉作成レプリカ、7・8が鉄製工具とその刃先形状

図7 T171とT171レプリと鉄製工具



1～3がT171の比嘉作成レプリカ、4・5は鉄石英製工具その刃先形状

図8 T171レプリと鉄石英製工具





1・3・5がT173実物、2・4・6が比嘉作成レプリカ、7が瑪瑙製工具の刃先形状

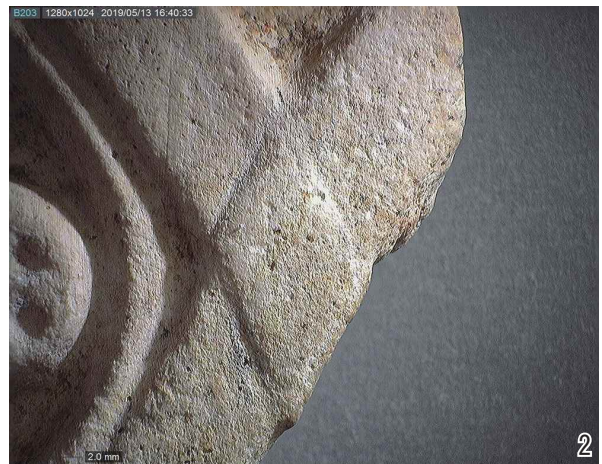
図9 T173とT173レプリカと瑪瑙製工具



1・3・5がT172実物、2・4・6が比嘉作成レプリカ、7・8が硬質砂岩、石英、サヌカイト製工具等  
 図10 T172とT172レプリカと硬質砂岩など石製工具



1. 浮線彫り



2. 段彫り



3. 細い丸刀による彫刻痕



4. 細い丸刀彫刻痕と角出し



5. 丸刀による彫刻痕と段彫り



6. 細い丸刀による彫刻痕と浮線彫り

1：平安山原B遺跡 2：鏡水箕隅原C遺跡 3：屋鈍遺跡 4：サウチ遺跡 5：具志原遺跡 6：清水貝塚  
 ※1～3はUSBデジタルマイクロスコープDinoLite-Edgeで撮影、4～6はデジタルカメラで撮影

図12 琉球列島出土広田下層式貝符に見られる彫刻痕